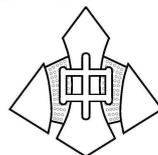


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和4年1月27日(木)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

保護者の 皆様へ

『まん延防止等重点措置』期間中の教育活動等について

1月27日(木)～2月20日(日)の「まん延防止等重点措置」期間中における教育活動等については、文書等でお知らせしたとおりですが、この期間の下校時間は、部活動の活動時間が1時間以内(準備・後片付けを含まない)となるため、次のとおりです。

【A案】6校時 17:30、5校時 16:30

【B案】6校時 17:00、5校時 16:00

また、家庭内においても、マスクの着用や換気などの対策とともに、次の点について、特段のご協力をお願いいたします。

- 毎朝の検温等の健康観察を徹底し、風邪の症状(特に、のどの痛みや違和感、発熱)等がある場合には、学校を休ませ医療機関を受診すること。【出席停止扱い】
- 同居の家族に発熱等の症状が見られる場合も学校を休ませること。【出席停止扱い】
- 同居の家族がPCR検査を受けた場合は、結果が出るまで登校を控えるようにすること。【出席停止扱い】
- 感染リスクが高い不特定多数の人との接触を避ける意味で休日も含め、不要不急の外出は控えること。

これまで以上に感染症対策の徹底を!

新型コロナウイルス感染症集中対策

郡山市立小原田中学校

◆ 校内で感染者が出た場合の濃厚接触者の特定基準

感染者の発症2日前から当該感染者が入院・宿泊療養・自宅療養を開始するまでの期間において

1m以内の距離で互いにマスクなしで15分以上の会話等の接触が交わされた場合

◎ 逆に考えると、学校生活において、上記のような場面をつくらないことが、濃厚接触者を出さないための重要なポイントとなる。

◆ これまで以上に感染症対策を徹底する。

- ① 毎朝の検温等の健康観察の徹底: 風邪症状や体調不良の場合は登校しない。同居の家族がPCR検査を受けた時は結果が出るまで登校を控える。
 - ② マスクの着用: はずしてよとの指示がある場合(運動や食事等)以外には、マスク(できれば不織布)を着用する。
 - ③ 手洗い・消毒: 手洗いは手を擦かす時間をかけてしっかり行う。
 - ④ こまめな換気: 寒くても休み時間ごとに2方向(窓側と廊下側)から行う。【最低5分間】
- 上記以外にも、次の点について徹底を図る。

- ⑤ 給食における黙食を徹底する。(準備・後片付けも整然と行う。)
- ⑥ 休み時間の過ごし方について、大声で騒いだり、接触したりしない。
- ⑦ 屋外に運動等で体を動かす場合もマスクを着用する。
- ⑧ 放課後の無用の居残りせず、寄り道をしないで真っ直ぐ帰宅する。
- ⑨ 運動部の活動において、運動する以外の場面ではマスクを着用する。
- ⑩ 部活動終了後、昇降口や校地内、帰宅途中の道路等でたむろしない。(部活動が終了したら真っ直ぐ帰る。)

◎ 感染者、濃厚接触者等に対する誹謗中傷、差別や偏見といった心ない言動は絶対にしないこと。

リーフレット “感染症集中対策”

小原田中生の“誇れるところ”と“改善すべきところ”

今年度も先生方に対して、「小原田中生の“誇れるところ”(強み)はどんなところですか?」というアンケートを取りました。次のような回答がありました。たくさん出された中の一部です。

- 優しく素直で誰に対しても思いやりのある行動が自然にできる。やさしい心根の持ち主が多い。
- 人なつっこく、温かい雰囲気があるところ。
- 行事や授業を全身で楽しもうとする生徒が多い。
- 部活動や係活動などに一生懸命頑張るところ。何事もまじめに取り組むところ。
- 先輩が後輩のお手本になれるところ(後輩が先輩を尊敬し見習おう感謝しようという気持ちを持っている)、先輩が後輩に一生懸命教え導いてくれるところ。
- 縦割りの活動が少ない中、1年、2年、3年の仲が良い。小原田中学校全体としての和がある。
- 和気藹々とした雰囲気で学校・学年行事に取り組める。たとえ、それが草むしりなどの奉仕作業であっても、明るい雰囲気で活動できる。
- 生徒と先生が仲良し。(いい人間関係、信頼関係が築けている。)



■ 親子関係が良好である。

- こちらが本気になって向き合えば、必ず伝わるところ。(いろいろな人の思いを受け止めて努力したり、成長しようしたりすることができる。どんな生徒であっても変わることはできるのだ、人は成長するのだということを生徒から教えてもらった。)
- 困っている人がいれば、自ら声をかけ手をさしのべることができる。お互いに友達を大切に作る気持ち強い。時には何も言わず触れないでいてくれたり、逆に励ましてくれたりするところが誇れる。

同じく、「小原田中生の“改善すべきところ”」「小原田中生に“身に付けてほしいところ”」では、次のような回答がありました。“誇れるところ”と“改善すべきところ”とが重なるものがあります。

- 学習に対する取り組み・姿勢、学習に対する向学心。(点数や平均点との差を気にするが、それまでのように勉強してきたのかの振り返りと改善が必要である。)
- 相手に伝わる挨拶という点でまだ不十分である。挨拶ができる生徒とできない生徒の差が大きい。
- 人の気持ちを察すること。 ■ 自分の発言が周囲にどんな影響を与えるかなど推測することが苦手。
- もっとメンタルが強くなってほしい。打たれ強さ、しぶとさが必要。
- 時にはピリピリした雰囲気でも競い合うことも必要。
- 受け身なところ。 ■ 困難に直面した時に周囲を頼りすぎてしまう傾向がある。
- 自分なりに努力してきたことに自信をもって、最後まで粘り強く頑張り抜こうとするたくましさ。
- 物事を人と違った視点で見る生徒が少ない。
- 陰で支えている人に気づき、感謝できる人間になってほしい。 ■ 給食の残菜が多い。



「行為の意味」～“こころ”や“思い”を“形”に～

行為の意味

宮澤章二

あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉は誰にも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

す。思いや考え、決意などを自分の外に示すには、勇気があることです。なぜなら、いったん外に示すと、今度はそれに縛られたり、責任が発生したりします。それでもなお、我々には、自分の〈こころ〉や〈思い〉をさまざまな〈行為〉や〈形〉に育てていく努力が必要だと思います。それができた時、同時に人は、人としての成長の階段を一段昇ったことになる。——勇気を出して、〈こころ〉や〈思い〉を〈行為〉や〈形〉に！

こころは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える。思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える。その気持ちをカタチに。

2011年3月11日、未曾有の東日本大震災が発生した後、ほとんど毎日のようにACジャパンのCMで流れていたフレーズです。これは、詩人宮澤章二(みやざわしょうじ)さんの《行為の意味》という詩から引用されたものです。宮澤さんは、あのクリスマスソングで有名な『ジングルベル』を作曲した人です。

〈人に対する積極的な行為〉がこの詩のキーワードになっていると思います。確かに、心の中にあるものは、その人の中に留(とど)まっているうちは他の誰にも分かりません。その人自身も、もしかしたら気付いていないかもしれません。〈思い〉は、積極的に〈行為〉という〈形〉にして初めて、命を吹き込まれ、意味のあるものとなっていくのだと思います。

先生方が回答してくれた小原田中生の“誇れるところ”と“改善すべきところ”を、この詩の意味に照らし合わせてみると、見えてくるものがあるはず。経験的に、何事も心の中に留めているほうが楽な場合が多いように思いま

